

令和8年3月19日

新潟市議会議長 様

会派名 新市民クラブ

代表者名 串田 修平

経理責任者 内山 幸紀

### 令和7年度 政務活動費収支報告書

新潟市議会政務活動費の交付に関する条例第9条に基づき、令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

#### 1 収入

(単位 円)

	金額	備考
政務活動費	1,290,000	@30,000×4人×10月 @30,000×3人×1月

#### 2 支出

(単位 円)

	金額	備考
調査研究費	1,290,000	別紙のとおり
研修費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	1,290,000	

#### 3 残額

0 円



## 支出伝票一覧表

支出伝票一覧表				
会派名	新市民クラブ			
支出年度	令和7年度	支出項目	調査研究費	NO. 1
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額(円)	備考
1	R7.5.30	行政視察旅費等(熊本市ほか)	484,019	振込手数料含む
2	R7.9.19	行政視察旅費等(静岡市ほか)	381,362	振込手数料含む
3	R8.1.16	行政視察旅費等(小豆島観光協会ほか)	424,619	振込手数料、キャンセル料(高橋三義議員)含む 540,216円のうち424,619円を計上
		小 計	1,290,000	
		合 計	1,290,000	

# 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ		
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	1
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和7年5月8日 から 令和7年5月9日		
支出年月日	令和7年5月30日		
支 出 金 額	484,019 円		
支 出 先	新潟交通(株)ほか		
使 途 内 容	行政視察旅費等(熊本市ほか)		
備 考	振込手数料含む		
領収書貼付欄	(調査研究費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。  
備考欄には按分率等を記入してください。

お取引明細票

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容	
07-05-30	281	25	N			*****	222	振込	
万円	5千円	2千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円
お取引金額 円							振込手数料 円	お取引後元帳残高 円	
¥481,092							¥275	*****	
ご案内		* お振込明細 *					0A0222		
お振込先		[REDACTED]					14:21		
ご依頼人		ニカタクツカハシイシカカリ 様 シンミンクラフ セイムカツウヒ ワシダ シユウ 様					印紙税申告納付につき新潟 税務署承認済		
R.7 5/8.9 承認視察 (-)									

毎度ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。  
 ●ご利用のお客様へ  
 ○ご利用の日および時間により当行所定の手数料(含消費税)を手数料掲記欄のとおりお支払いいただいております。  
 ○ただしキャッシングサービスの場合は、ご利用額の決済日にお取引口座からお支払いいただきます。

印紙税納付の必要がない場合は  
 \*印で消しております。  
 裏面のご案内をあわせてご覧ください。

NO. 553242

2025年5月23日

新市民クラブ 様

2025年5月8日～9日

長洲町視察

T7110001003728

新潟交通株式会社

旅行部 販売企画課

新潟市中央区万代1-6-1

代表取締役社長 星野佳人

TEL025-246-6366

ご旅行費用請求書

担当 [REDACTED]

基本費用	単価	数量	金額	摘要
航空券代	39,380	4	157,520	5/8 新潟～伊丹～熊本
航空券代	50,500	4	202,000	5/9 熊本～伊丹～新潟
		1		
宿泊代金(朝食付き)	14,300	4	57,200	ワンステーションホテル
小計			416,720	
共通経費	単価	数量	金額	摘要
レンタカー費用	59,500	1	59,500	
レンタカー(現地支払い)	3,872	1	3,872	
駐車代	1,000	1	1,000	
小計			64,372	
合計金額			481,092	
合計金額			¥481,092	

この度は弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。  
上記の通りご請求させていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

消費税10%対象	
税抜	¥437,356
消費税	¥43,736
消費税8%対象	
税抜	¥0
消費税	¥0
不課税	¥0

◆振込口座: [REDACTED]  
新潟交通株式会社 販売推進係(ニイガタコウツウ.カ ハンパイスインガカリ)

《発行責任者及び担当者》

	役職	氏名	電話連絡先
発行責任者	課長	[REDACTED]	025-246-6366
担当者		[REDACTED]	025-246-6366

# アカシア

新潟空港ビルディング株式会社  
新潟市東区松浜町37-10  
025-275-2635

登録番号 T1110001003717

2025年05月08日(木) 07時14分  
令頁 以又 証正

4990725378996  
朱鷺ファミリー  
2点 @1296 内\* ¥2,592  
0302901000012  
NAB紙袋  
2点 @30 内 ¥60

小計 ¥2,652  
(うち消費税等 ¥197)

お買い上げ点数 4点  
合計 ¥2,652

現金 ¥3,000  
お釣り ¥348

上記正に領収いたしました

(10%対象 ¥60  
内消費税 ¥5)  
(8%対象 ¥2,592  
内消費税 ¥192)

注)「\*」は軽減税率対象商品です。

「新潟のお土産をお届けします。」  
新潟空港オンラインショップ  
<http://niiyataap-omiyage.com>  
PC、スマホからご注文ください



店:0201 店:12 #166396  
担: [REDACTED]

# 新市民クラブ 様

2025年5月8日(木)～9(金) 熊本 行政視察(案) 【1泊2日】

新潟交通株式会社 販売推進係  
 新潟市中央区万代1-6-1 担当 XXXXXXXXXX  
 TEL XXXXXXXXXX FAX025-246-6244

期 日	御 旅 程
5/8 (木)	<p>新潟空港 ⇒⇒NH1658⇒⇒ 伊丹空港 ⇒⇒NH1625⇒⇒ 熊本空港                      8:05                                      9:15/10:40                                      11:55～12:30</p> <p>(熊本空港にてレンタカー) —20 km 40分程度・途中食事— 熊本市役所                      13:00                                      13:40～14:40                                      15:00～17:00</p> <p><b>調査事項①「公共交通ランドデザインについて」(熊本市役所)</b></p> <p>— 熊本市内(泊) —                      17:30</p>
5/9 (金)	<p>ホテル —37 km 1時間程度— 長洲町役場(行政視察)  <b>調査事項②「予約型乗合タクシー(きんぎょタクシー)について」(長洲町)</b></p> <p>— 昼食休憩 — 50 km 75分程度                      7:50                                      9:00～12:00                                      12:30～13:30</p> <p>—&lt;レンタカー返却&gt;— 熊本空港                      16:00頃</p> <p>熊本空港 ⇒⇒NH526⇒⇒ 伊丹空港 ⇒⇒NH1663⇒⇒ 新潟空港                      17:20                                      18:25/19:05                                      20:10</p>
<p>■宿泊: ワン・ステーションホテル (旧ニューホテル熊本) (想定)</p>	

※参加者:4名 志田議員、高橋三義議員、串田修平議員、内山幸紀議員

## 視察（出張）報告書

令和7年5月30日

新潟市議会議長 様

氏名 内山 幸紀

下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

視察議員	志田 常佳、高橋 三義、串田 修平、内山 幸紀
期 間	令和7年5月8日（木）～ 令和7年5月9日（金）
視 察 先	(1) 熊本市 (2) 熊本県長洲町
視 察 用 務	(1) 公共交通グランドデザインについて (2) 予約型乗合タクシー（きんぎょタクシー）について
視察先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

## 熊本県熊本市

◇視察日時 令和7年5月8日(木) 15:00~17:00

◇視察事項 公共交通グランドデザインについて

◇視察会場 熊本県熊本市中央区手取本町1番1号 熊本市役所

◇面会者 熊本市都市建設局 交通政策部 公共交通推進課 主幹兼主査 星田 剛明 氏  
熊本市議会 議会局 主席審議員兼総務課長 岩山 誠二 氏

◇市政概要 人口 735,509人(2025年4月1日推計人口) 面積 390.32km<sup>2</sup>

### ◇視察概要

#### ①事業概要と事業開始について

バス事業において、利便性や利用状況についてバス交通のあり方検討協議会を学識者・市議会議員・バス事業者・環境・福祉関係者・公募市民・関係行政機関など27名で平成20年から23年まで連携計画や都市マスタープラン全体構想を見直し、平成24年から公共交通グランドデザインを策定し、平成25年4月公共交通基本条例を施行させる。平成27年から地域公共交通網形成計画や公共交通グランドデザインを改訂し今現在、継続して協議中との事。公共交通を基軸とした、多核連携の街づくりを目指し、具体的な取り組み方針として、基幹公共交通軸の強化、バス路線網の再編、公共交通空白・不便地域の解消を目指し、公共交通と自動車交通のベストミックスの構築を考え市街地部に公共交通利便向上エリアを設定し、公共交通を主体とした交通体系の構築を進めている。

#### ②熊本市公共交通基本条例について

目的としては、公共交通により円滑に移動可能な地域社会の実現を目指す。方向性としては、公共交通を基軸とした多核連携のまちづくりの推進、自家用車から公共交通への転換を推進、公共交通の利用者はもとより、地域社会全体で公共交通を支える。公共交通により円滑に移動可能な地域社会の実現を目指すとして制定する。

#### ③行政機関や民間事業者との連携について

全国初でバス事業者5社が「共同経営」スタートさせる。利用者ニーズに沿った利便性の高い持続可能なバス路線網を目指し、路線バス事業者5社がその垣根を越えて取り組むことで、鉄軌道事業者・タクシー事業者・関係機関・地元自治体等とも緊密な連携が必要と考える。また、共同経営の目標として、収益性・効率性の向上・重複区間の効率化等による経営改善や利用者利便の水準を維持しつつ、対象のサービス維持を図る。また、熊本市内中心部エリアの均一運賃180円を導入する。均一運賃の実施による運賃収入の増加により収支の改善を図る。

#### ④現在の課題と今後の取り組みについて

将来にわたり長期安定的な公共交通に転換するには、様々な公共交通機関が相互に連携し、行政が公共交通に対して一層関与を深めることで、公共交通を再構築する必要がある。また、持続可能な地域公共交通の再構築は、目指す地域公共交通の将来像の具現化や地域公共交通における行政の役割、次期地域公共交通計画の策定が必要不可欠と考えているとの事。

### 【所見】

本市においても、平成の大合併から日本海側唯一の政令指定都市となり、8区の中では公共交通のあり方が問われ続けている。都心エリアや農村エリアといった、極端な地域性が本市の大きな課題となっている。公共交通は、かつての自動車がまだ普及し始めている高度経済状況においては、非常にニーズの高い移動手段であった。しかし、自動車社会の到来で一家に一台の車が、1人に1台の時代になり、経済活動や一般社

会生活においても、必要不可欠となり、自動車に勝る移動手段は今現在、変わるものが無い状況になったと考える。こうした、時代背景において公共交通が補完しなければならないターゲットは、高齢者や障がい者、学生の交通弱者となっている方々や都心エリアにおいては、駐車スペースや道路の幅員を考慮して、一般車両の交通量を増やすのではなく、公共交通による移動手段を増やすことで環境に配慮したまちづくりを考えていくべきではと感じられる。視察内容になったと考える。また、その反面、どの自治体でもこれが最善の政策だと言えるものがあまり感じられなかったと思う。公共交通はこれからも、人口減少や高齢化社会の大きな問題として、これからも全国的な課題と考える。

## 熊本県長洲町

- ◇視察日時 令和7年5月9日(金) 9:30~12:00
- ◇視察事項 予約型乗合タクシー(きんぎょタクシー)について
- ◇視察会場 熊本県玉名郡長洲町大字長洲2766番地 長洲町役場
- ◇面会者 長洲町議会議長 福永 栄助 氏  
長洲町まちづくり課審議員 中山 健一 氏  
長洲町まちづくり課企画調整係 徳永 祐一郎 氏  
長洲町議会事務局 局長 濱村 満成 氏  
同 局長補佐兼議事係長 塩本 武 氏  
アトムグループ 代表取締役 吉田 安秀 氏

◇市政概要 人口 15,143人(2025年3月末現在 推計人口) 面積 19.44km<sup>2</sup>

### ◇視察概要

#### ①取り組み開始の経緯と概要について

長洲町は、以前からバス事業を他都市と同様に展開をしていた。時代の流れとともに、自家用車が当たり前の時代になり、自動車分担率も非常に高い状況になっていく。そんな中、公共交通の見直しを考え、4路線あるうちの2路線に掛かる補助金額1500万円を新たな公共交通再編に向け長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、地域公共交通総合連携計画の作成及び実施、地域の実情に即した輸送サービスの実現の為の協議を平成22年1月20日に設立する。

#### ②デマンド運行システムの概要について

運行時間はAM8:00~PM4:30までで、事前登録をすれば、(町内外)どなたでも利用が出来る。また、1日9便(AM8:00~PM4:00台)までとし、予約があった場合のみ運行する。10人乗りのジャンボタクシー3台とセダントップ1台体制で運航している。利用者は予約センターに電話で予約し予約センターは、予約受付後に複数の予約を束ねて、送迎する車両を決定し、迎え場所と送る場所で、ルートと送迎順番を最終決定し、車両に利用者情報と乗降場所を送信し、ドライバーは順番に送迎するシステムになっている。

#### ③予約相乗型きんぎょタクシー運行状況について

平成24年3月末2,093人登録されていたが、令和7年3月末時点で3,940人の登録者に増加し続けている。利用者の7~8割は女性客が占めている。また、平成24年度は13,473人利用者に対し、年々増加を続け令和6年度は、20,593人が利用しているという非常にニーズの高い、公共交通に変貌している。また、民間のアトムグループが委託事業者となって、運営をしており、当初民業圧迫になる事などが懸念されていたが、今現在では運営にあたり、利用者はそもそも、タクシーやバスなどを利用しない方々が利用していることが委託を受けて感じる事ができ、自社のタクシー事業には全く影響が出ていないことが立証されたとおっしゃっている。このことは非常に大きな発見としている。

#### ④現在の課題と今後の取り組みについて

地域の実情に合った公共交通であることを目指し、他の公共交通手法を真似することは出来ない地域特有の実情に合った公共交通を考える。利用されて初めて公共交通となることを目指し空気を運ぶ施設ではなく、人と幸せを運ぶ、地域の声すべてが反映する、住民の為の公共交通でなければならない。これからもアンケートや乗り込み調査、現地ヒアリング、説明会、地域住民との数多くの意見交換が重要と考え、今後も以上のことを実践していくとの事。

## 【所見】

本市においても、平成の大合併から都心エリアと郊外エリアが入り組んだ地域が複雑に絡み合った都市になっている。今回は、郊外エリアの区バス事業では、区民の交通弱者をしっかりと支えることのできる公共交通を目指すことは、現実的にカバーすることは、出来ないものと考え。今までもバス停の数を増やしたり、位置を変更したり、また便数を増加してみたりと様々な対応はしてきたものの、現実的に交通弱者の方々の満足の頂ける公共交通にはなっていないと考える。これからは、今まで、してきたことを継続するのではなく、まさに今まで行ってきていない手法を取り入れ、実証実験をしていく、段階に挑戦していく時ではと考える。バスありきの考えではなく、長洲町が掲げている、地域の実情に合った公共交通であることを目指し、他の公共交通手法を真似することは出来ない地域特有の実情に合った公共交通を考える基本理念とし、人口減少の中にあっても、誰の為に必要な公共交通なのかをしっかりと基本柱にして、本市の各区の郊外エリアに新たなフルデマンド型の公共交通を整備するべきと考える。

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ		
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	2
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和7年8月5日 から 令和7年8月7日		
支出年月日	令和7年9月19日		
支 出 金 額	381,362 円		
支 出 先	新潟交通(株)ほか		
使 途 内 容	行政視察旅費等(静岡市ほか)		
備 考	振込手数料含む		
領収書貼付欄	(調査研究費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。  
備考欄には按分率等を記入してください。

お取引明細票

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容	
07-09-19	281	25	N			*****	206	振込	
万円	千円	百円	十円	円	角	分	厘	銭	
お取引金額						消費税込手数料	お取引後元帳残高		
¥378,504						¥275	*****		
ご案内		* お振込明細 *				0A0206			
お振込先		[REDACTED]				14:23			
ご依頼人		ニイカタクウツウ.カ ハンバ イスシカ カリ ホシ 様 シンシミンクラフ セムカツウヒ クシダ シユウ 様				印紙税申告納付につき新潟県税務署承認済			

毎度ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。  
 ●ご利用のお客様へ  
 ○ご利用の日および期間により当行所定の手数料（含消費税）を手数料欄記載のとおりお支払いいただいております。  
 ○ただしキャッシングサービスの場合は、ご利用額の決済日にお取引口座からお支払いいただきます。

■印紙税納付の必要がない場合は \*印で消しております。  
 裏面のご案内をあわせてご覧ください。

新潟みやげ

TEL 025-212-9026

登録番号 T6110001004520  
 新潟県新潟市中央区花園1-1-1号  
 C o C o L o 新潟  
 2025年08月05日(火)08:32 レジ0001

貴No [REDACTED]

4902975071718JAN  
 000003\*柿の種フロランタン 小  
 3コX単831 ¥2,493  
 2100600000030JAN  
 000060内手提袋(マチ、小)  
 3コX単30 ¥90  
 合計 ¥2,583  
 税率8%課税対象額 ¥2,493  
 税率8%税額 ¥184  
 税率1.0%課税対象額 ¥90  
 税率1.0%税額 ¥8  
 (税合計 ¥192)

お預り ¥3,000  
 お釣り ¥417  
 お買上点数 6点  
 明細の\*印は軽減税率対象商品。



レシートNo6573

店No00001

**新市民クラブ 様**

2025年8月5日～7日

名古屋・甲府

4 名様

T7110001003728

新潟交通株式会社

旅行部 販売企画課

新潟市中央区万代1-6-1

代表取締役社長 星野佳人

TEL025-246-6366

**ご旅行費用請求書**

担当 XXXXXXXXXX

基本費用	単価	数量	金額	摘要
JR代	16,880	4	67,520	新潟→清水
JR代	6,470	4	25,880	清水→名古屋
宿泊代金	14,300	4	57,200	名古屋クラウンホテル
宿泊代金	14,300	4	57,200	ホテル石庭
小 計			207,800	
共通経費	単価	数量	金額	摘要
レンタカー費用	139,000	1	139,000	
レンタカー(現地支払い)	10,534	1	10,534	
有料道路	13,800	1	13,800	
タクシー代	7,370	1	7,370	
小 計			170,704	
合計金額			378,504	
合計金額			¥378,504	

この度は弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。  
上記の通りご請求させていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

消費税10%対象	
税抜	¥344,095
消費税	¥34,409
消費税8%対象	
税抜	¥0
消費税	¥0
不課税	¥0

◆振込口座: XXXXXXXXXX  
新潟交通株式会社 販売推進係(ニイガタコウツウ. カ ハンバイスイシンガカリ)

《発行責任者及び担当者》

	役職	氏名	電話連絡先
発行責任者	課長	<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>	025-246-6366
担当者		<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>	025-246-6366

# 新市民クラブ 様

2025年8月5日(火)～7(木) 名古屋・静岡・山梨 行政視察(案) 【2泊3日】

新潟交通株式会社 販売推進係

新潟市中央区万代 1-6-1 担当

TEL FAX025-246-6244

期 日	御 旅 程
8/5 (火)	<p>◆集合:新潟駅タマ公前 8:50</p> <p>新潟駅 ==とき 312号==東京駅==ひかり 509号== 静岡駅 == 清水駅.....                      9:13 10:44/11:03 12:02/12:13 12:25</p> <p>◆静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・る(行政視察) ..... 清水駅 == 静岡駅.....                      13:45~15:15 (駅からすぐ) 15:42 15:56</p> <p>静岡駅 ==ひかり 517== 名古屋駅 一 名古屋(泊)                      16:07 17:01 17:30頃</p>
8/6 (水)	<p>ホテル 一 ◆名古屋市役所(行政視察) 一 名古屋駅近辺(車両レンタル)                      9:00 9:30~11:00 トヨタレンタカー                      名古屋駅太閤通口店 TEL 052-451-2600</p> <p>名古屋 ~260 km程度~ 甲府 (泊)                      3H30~4H00 程度 16:30頃</p>
8/7 (木)	<p>ホテル 一 ◆山梨県庁(行政視察) 一 長野経由(360 km程度・4H30~6H00 程度)                      9:30 10:00~11:30</p> <p>一 新潟駅近辺(車両返却) 新潟駅南口店 8:00~20:00 TEL025-245-0100                      17:30頃 〒950-0916 新潟市中央区米山 1-1-9</p>
<p>■宿泊: 1日目 名古屋 : 名古屋クラウンホテル TEL052-211-6633                      2日目 甲府 : ホテル石庭 TEL055-262-4155</p>	

※参加者:4名 志田常佳議員、高橋三義議員、串田修平議員、内山幸紀議員

様式16 (会派用)

## 視察（出張）報告書

令和7年9月19日

新潟市議会議長 様

氏名 内山 幸紀

下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

視察議員	志田 常佳、高橋 三義、串田 修平、内山 幸紀
期 間	令和7年8月5日（火）～ 令和7年8月7日（木）
視 察 先	(1) 静岡市 (2) 名古屋市 (3) 山梨県
視 察 用 務	(1) 「静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・る」について (2) 「名古屋観光・MICE戦略2028～どえらい名古屋Strategy～」について (3) 「富士の国やまなし峡東ワインリゾート構想」について
視察先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

## 静岡県静岡市

- ◇視察日時 令和7年8月5日(木) 13:45~15:30  
◇視察事項 「静岡市子どもクリエイティブタウン ま・あ・る」について  
◇視察会場 静岡市子どもクリエイティブタウン ま・あ・る  
静岡市清水区辻1-2-1 えじりあ3・4階

◇面会者 館長 ████████ 氏

### ◇市政概要

政令指定都市 人口 669,265人 面積 1,411.93km<sup>2</sup>

### ◇視察概要

#### ①施設整備の経緯と設置にあたり検討された事項について

2009年度に基本構想を策定する。2010年度、実施設計。2011年10月に施設の愛称として、「まなぶ」「あそぶ」「つくる」から一文字ずつを取り、「ま・あ・る」になる。また、公式キャラクター「まあるん」もあわせて、公募にて決定する。2011年11月に内装設備工事着手、12月整備運営計画策定し、指定管理者募集開始する。2012年9月ミニしずおか2012実施。2012年10月内装設備工事完成。2013年1月20日開館する。アクセスとしては、JR東海道本線 清水駅西口から徒歩1分で施設面積は、約1,800m<sup>2</sup>(各階900m<sup>2</sup>)で開館時間9:30~17:30まで。毎週水曜日(水曜日祝日の場合は翌日)、その他年末年始が休館日となっている。入館料については、子ども(18歳未満、高校3年生は卒業まで)無料とし、大人(18歳以上)1日券310円/期間入館券1,570円(1年間有効)となっている。年間の受益者負担額は約200万円となっている。年間利用者数目標として100,000人を目指すとし、直近の2024年度は、1年間124,460人の方々から利用されている。

#### ②現在の施設運営体制や事業プログラムの内容、企業との協力関係について

「静岡市子どもクリエイティブタウン ま・あ・る」の事業としては、協力事業者の方々へ実際に出向き、どんな仕事をしているのか体験する「しごと・ものづくりこうざ」を開催しています。協力事業者数は200社ほどおり、1年間260講座を行っているとのこと。

全ての講座ごとに参加費が設定されており、非常に人気が高く即完売する講座も数多くあり、多くの子ども達が利用しているとのこと。

協力事業者に対し、謝礼という形で1講座14,000円を支払っているのだが、事業者サイドからは、複数人で準備等をして頂いているのでほとんど、手弁当で協力をして頂いているとのこと。

その他、施設内で仮想自治体を行っており、実際に4・5・6年生から子ども店長や実際に選挙で市長・副市長を決めて、1年間仮想通貨をつくり、実際にそれぞれのお店を運営とお客さんと分かれて、社会・経済を肌身で体験する事が出来る非常に面白い取り組みをされている。施設の実際のスタッフは職員9名・アルバイト11名で施設の運営管理を行っており、利用者の内訳は市内81校の小学生40%・幼児を含む子ども達50%・その他10%となっているとのこと。

#### ③現在事業を運営する上での課題や懸案について

出来るだけ多くの方々当館を利用していただき、その子供たちが大きくなった時、地元の様々な企業が実際にあることを学び、体験し、将来的には地元企業就職に繋がるようにしていきたいとのこと。

また、地元企業も昨今の人口減少の中の少子超高齢化社会を見据えて、様々な若者に対してのアプローチを社会貢献として行いながら、未来への投資をしている。

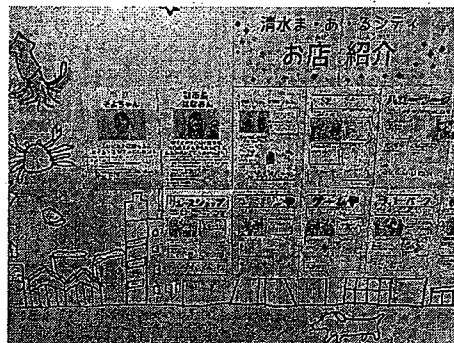
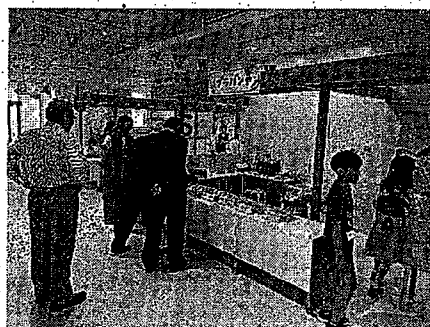
そんな中で実際にこの施設を利用して子供が大きくなり、実際に施設のスタッフとして働いている方

も出てきているとのこと。

【所見】

本市においても、人口減少の中の少子超高齢化社会が及ぼす、影響は計り知れないものがある。また、若者に関しては、市域外・県外へ流出している状況がある。特に女性が多く流出している傾向がある。全国的な問題ではあると思うが、黒字経営でも担い手不足や働き手不足の為、多くの民間事業者が廃業をしてきている。こうした状況は、地方自治体にとっては、大きな負の影響の連鎖に繋がる非常に大きな課題である。そんな中、政令指定都市・静岡市の「静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・る」が行っている事業は、幼い時から自分の住む町にどのような産業があり、どのような経済循環をしながら、住民の皆さんが暮らしているのか、自分たちが暮らしているのかを楽しみながら自然と心や体を感じ取っていただきながら、将来を担う若者を、地域をあげて育てている、素晴らしい取り組みと感じた。

今後はこうした取り組みをしっかりと検証をしながら、本市として、どのように生かして行く事が最良なのか、考えていくべきと感じた。因みに静岡市では本市にある、ひまわり学童や児童館と言ったものを「静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・る」に集約させてバージョンアップをした感じの取り組みと感じた。



## 名古屋市

◇視察日時 令和7年8月6日(水) 9:30~11:30

◇視察事項 「名古屋市観光・MICE戦略2028~どえらい名古屋。Strategy~」について

◇視察会場 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市役所

◇面会者 名古屋市観光文化交流局観光部 観光推進課長 上土井 崇之 氏

名古屋市観光文化交流局観光部 MICE推進課長 阿部 雄一 氏

名古屋市議会事務局 山本 氏

◇市政概要 政令指定都市 人口 2,337,241人 面積 326.46㎢ 人口密度 7,157人/㎢

### ◇視察概要

#### ①戦略を策定された経緯や策定のメンバーについて

令和元年度から令和5年度までの5年間を計画期間とし、「名古屋市観光戦略」のもと観光・MICEの推進に取り組む。本格的な人口減少局面を迎える中でも成長と活力を生み続ける都市の実現に向けて本市を拠点とした圏域一帯で交流の機会と消費を創出し、賑わいと新たな活力を生み出す都市ブランドの向上に寄与する為、「名古屋市観光・MICE戦略2028」を策定する事とした。構成メンバーは、名古屋市観光コンベンションビューロー・南山大学教授・なごやめし普及促進協議会・名古屋商工会議所・中部経済連業連合会・中部国際空港・他などの有識者で構成されている。

#### ②市民や民間等との連携状況やこれまで戦略に取り組まれての効果について

ハイレベルな国際会議の開催や海外富裕層旅行者等の誘致や都市ブランド力向上に繋がる、愛知県と連携して高級ホテルの立地促進補助制度を創設し、3件のホテルを誘致する。また、効率的に観光施設を周遊できるように、なごや観光ルートバス(メーグル)の運行、都心部の賑わいや回遊性向上の為の新たな路面公共交通システムSRTの導入に向けた社会実験等を実施した。その他にも県内初の地域型日本遺産として認定された有松地区をはじめ、歴史的資源を有するエリアの歴史的建造物を整備・公開しながら、体験・周遊イベントの開催をし、魅力的な発信に繋げてきた。そのほか、MICE誘致・開催については、支援の充実として、見本市・展示会・国際会議に対する助成制度を運用しながら、インセンティブ旅行を対象とする助成制度を見直し、ユニークベニュー利用促進に係る助成制度を創設し、コロナ禍においては、主催者の感染症対策に係る経費を支援する助成制度を設け、MICE開催に繋げてきた。

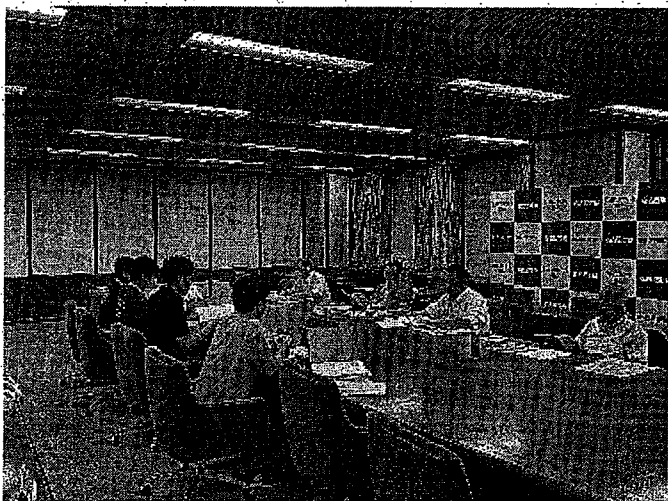
#### ③現在の課題や懸案について

近年、一部の都市でオーバーツーリズムが発生している。過度の混雑による旅行者満足度の低下やマナー違反による地域住民の生活への悪影響が懸念される。現実に対処が求められている地域も出てきている。旅行者による地域の環境や生活、経済などへの影響に十分に配慮するサステイナブルツーリズムも世界的にも意識が高まってきている。観光客の誘致には交通サービスの確保や充実、多言語対応などの環境整備や地域や施設の需要と供給のバランスを考慮しながら推進していくべきと考える。

### 【所見】

本市においても、観光戦略とMICE戦略は必要不可欠の最大のミッションと考える。前々から、新潟県も新潟市も観光下手と言われるほど、インバウンドにしる、観光客にしる、中々消費者確保に繋がる最大の消費人口を生み出す事が出来ていない。今後は、人口減少の中の少子超高齢化社会に突入しているので、なおさら消費人口を増やしなが、まずは本市の市域内消費額を増やす取り組みをしながら、新潟市民の行政サービスが低下することの無いよう、本格的な人口減少局面を迎える中でも成長と活力を生み続ける都市の実現に向けて本市を拠点とした圏域一帯で交流の機会と消費を創出し、賑わいと新たな活力を生み出す都市ブ

ランドの向上に寄与する為の「名古屋市観光・MICE戦略2028」に通じる、同じ視点での現実的な戦略を打ち出していかなければならないと考える。世界遺産登録した佐渡島やユネスコ無形文化遺産に登録された「酒造り」と新潟の強みを最大限に活かした観光戦略を打ち出すべきと強く感じられた。



## 山梨県庁

- ◇視察日時 令和7年8月7日(木) 10:00~11:00  
◇視察事項 「富士の国やまなし峡東ワインリゾート構想」について  
◇視察会場 山梨県庁  
◇面会者 山梨県観光文化・スポーツ部 観光地経営支援グループ グループ監 小林 氏  
同 グループ監補佐 望月 氏  
山梨県議会事務局 議事調査課 課長補佐 佐野 氏  
同 副主査 三枝 氏

## ◇県政概要

人口 783,870人 面積 4,465.27km<sup>2</sup>

## ◇視察概要

### ①構想を策定された経緯や策定メンバーについて

#### <経緯>

- ・平成25年6月の富士山世界遺産登録などにより、本県を訪れる観光客は国内外を問わず大幅に増加。
- ・山梨県のさらなる発展を目指す上で、様々な観光資源を連携させ、観光客を県内周遊につなげることによって、山梨県の交流人口の増加や経済の活性化を図っていくことが必要と考えた。
- ・富士山に次ぐ大きな観光資源である、ワインやブドウの産地である峡東地域(山梨市、笛吹市、甲州市)への周遊・滞在型観光の推進を目指し、平成28年2月に「富士の国やまなし峡東ワインリゾート構想」を策定。

#### <策定メンバー>

策定等準備会の構成メンバーは、県、市町村、観光関係団体、ワイン関係団体、二次交通事業者、農業関係者、宿泊関係者、旅行業者及び専門家(21の団体・者)

アドバイザーとして、日本ソムリエ協会の[ ]なども参画している。

### ②構想の内容と峡東地域ワインリゾート協議会の概要、および構想終了後の観光振興や地域振興の取組状況や予算状況について

#### <構想の内容>

- ・本構想の基本コンセプトは、「地域の様々な資源を楽しみ、ゆったり滞在するワインリゾートの創出」を目指すこと。
- ・峡東地域において、官民が協働し、ワインを核に多くの来訪者がゆっくと地域の魅力を体感、堪能できる、周遊・滞在型の観光地を目指すこと。
- ・「ワイナリーにおける受入環境の整備」など13の推進方策をはじめ、アクションプログラムや成果指標などを整理した。

#### <協議会の概要>

・構想の実施主体として平成28年1月に設立された協議会は、構想策定等準備会のメンバーを中心とした22団体によって構成。事務局は、公益社団法人やまなし観光推進機構と山梨県が担っており、令和5年度には一般社団法人ワインツーリズムが参画している。

・平成30年5月、「葡萄畑が織りなす風景」の日本遺産認定を受け、以後、日本遺産事業の実施主体としても活動している。

#### <取組・予算状況>

- ・予算額と主な事業については別表1、2を参照
- ・平成31年度の構想期間終了時、既に「日本遺産を通じた地域活性化計画(計画期間：平成30年度～令和5年度)」が決定していたため、構想の改定は行わず、当該計画を軸に、引き続きワインを核とした周遊・滞在型の観光を推進することとし、令和2年4月の総会にて、協議会の継続を決議した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、協議会の活動は大きく制限されたが、毎年度約200万円の予算規模(3市の事業負担金各50万円と会費)で、周遊・滞在型観光の推進と日本遺産の普及啓発、活用のための事業を実施している。

#### ③取組をしての観光面の効果、地域振興面の効果や現在の課題について

##### <観光面・地域活性化の効果>

- ・構想で設定した成果目標は3件中2件を達成している。
  - 観光入込客数→達成 (H30年度実績9.9%増加 (H26年度比))
  - 観光消費額→未達成 (H30年度実績3.5%減少 (H26年度比))
  - 醸造用ブドウの供給量→達成 (H30年度実績25%増加 (平年水準と比較))
- ・「日本遺産を通じた地域活性化計画(計画年度：平成30年度～令和5年度)」については、令和6年度に行われた日本遺産総括評価・継続審査において認定継続とされるなど、6年間の取り組みが評価された。
- ・現在は、新たな「日本遺産を通じた地域活性化計画(計画年度：令和6年度～令和8年度)」に基づき、次の事業を実施した。
  - 日本遺産とワインの文化・歴史を語ることのできるガイド育成
  - 住民と観光客の日本遺産認知度向上のための拠点整備とイベント出展
  - ホームページとSNS等による情報発信

##### <課題>

持続可能な観光地域づくりに向け、事務局体制の民間主導への移行が必要

#### 【所見】

山梨の甲州ワインの歴史と伝統に感銘を受けた。

山梨県の峡東地区に酒蔵が集中しており、蔵元の店舗や道路が整備されており、観光地化されていることに関心した。

官民一体となった体制について、本市も学ぶべきと感じた。

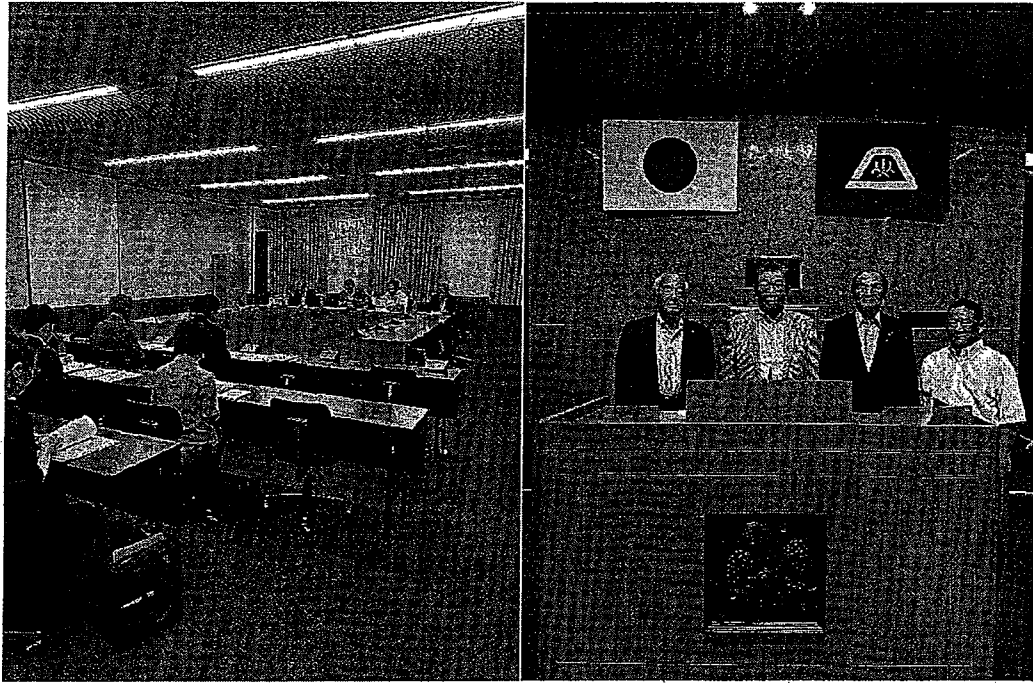


表1

峡東地域ワインリゾート推進協議会 予算額

単位：千円

年度	予算合計	県補助	市町補助	会費	国補助
H27	4,200	2,100	2,100	0	0
H28	5,769	2,720	2,760	280	0
H29	8,854	4,151	4,251	280	0
H30	45,298	2,582	2,622	360	39,329
H31/R1	23,860	20	2,622	340	20,000
R2	12,362	0	1,500	0	9,000
R3	2,280	20	1,560	360	0
R4	2,832	20	1,560	360	0
R5	2,510	20	1,560	360	0
R6	32,226	20	1,560	360	30,000
R7	2,382	20	1,560	360	0

○ H27は峡東ワインリゾート構想策定等準備会の予算額

表2

**峡東地域ワインリゾート推進協議会 主な事業**

年度	主な事業
H27	構想策定
H28	ホームページ構築
H29	ワイン列車運行
H30	コンシェルジュ研修 ※ 文化庁補助金：ベンチ制作
H31/R1	2次交通現状調査 ※ 文化庁補助金：案内看板設置
R2	連携促進支援事業（民間事業補助） ※ 文化庁補助金：ガイドマップ作成
R3	ワイナリー動画作成・モデルツアー実施
R4	日本遺産特別講演会
R5	地域活性化計画検討
R6	人材育成・普及啓発（セミナー開催） ※ 観光庁補助金：インバウンドツアー

<主な事業の内容>

○峡東ワインリゾートコンシェルジュ事業（コンシェルジュ研修）

ホテルや飲食店等の従業員向けに平成28年度から平成30年度に実施。地域のワインの歴史講座とテイastingなどを組み合わせた研修により地域でワインについて語ることでできる人材を育成する事業で、計画年度中に1.5回のセミナーを開催し、延べ172名が参加【推進方策（2）、（3）】

○構想と日本遺産に関わるガイド育成等を目的としたセミナーの開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時見送られていたが、令和4年度に再開され、令和6年度までの3年間で6回実施し、延べ254名が参加

○日本遺産案内看板設置事業（平成31年度文化庁補助金活用）

駅前の観光案内所等に地域の文化をまとめたストーリーを紹介する案内板を8基設置し、観光客が地域の文化に触れる機会を創出し【推進方策（5）（6）】

## 支 出 伝 票

会 派 名	新市民クラブ		
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	3
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和7年12月1日 から 令和7年12月3日		
支出年月日	令和8年1月16日		
支 出 金 額	424,619 円		
支 出 先	新潟交通(株)ほか		
使 途 内 容	行政視察旅費等(小豆島観光協会ほか)		
備 考	振込手数料、キャンセル料(高橋三義議員)含む 540,216円のうち424,619円を計上		
領収書貼付欄	(調査研究費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。  
備考欄には按分率等を記入してください。



えびす庵 新潟市中央区花園1-1-1  
CoCoLo新潟 2F東  
TEL 025-288-6864

2025年11月29日(土) 18:36 No:0001

0001南蛮えび煎餅大  
単1,296× 3個 軽 ¥3,888

小計 ¥3,888  
内8%対象額 8.00% ¥3,888  
内税8% 8.00% ¥288  
合計 ¥3,888  
(内消費税等 ¥288)

お預り ¥4,000  
(消費税等 ¥288)  
お釣り ¥112



A2025112900011812A

軽マークは軽減税率対象商品です。  
登録番号：T9-1100-0100-3148

責No:00000001:責任者01  
取引No1812 3点買

第四北越銀行

### お取引明細票

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
08-01-16	281	25	N				23	振込
お取引金額	消費税	お取引後元帳残高						
¥536,053	¥275							
* お振込明細 * OA0023								
お振込先								
ご依頼人								
ニイカタクウツウ、カバンバ イスイシガカリ 様								
シンシミンクラブ セイムカツウヒ クシダ シウ 様								
10:29								
印紙税申告納付につき新潟県税務署承認済								

毎度ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。  
 ●ご利用のお客様へ  
 ○ご利用の日および時間により当行所定の手数料(含消費税)を手数料据取額のとおりお支払いいただいております。  
 ○ただしキャッシングサービスの場合は、ご利用額の決済日にお取引口座からお支払いいただきます。  
 ■印紙税納付の必要がない場合は \*印で消しております。  
 裏面のご案内をあわせてご覧ください。

NO. 539789

2025年12月17日

**新市民クラブ 様**

2025年12月1日～3日

四国視察

T7110001003728

新潟交通株式会社

旅行部 販売企画課

新潟市中央区万代1-6-1

代表取締役社長 星野佳人

TEL025-246-6366

**ご旅行費用請求書**

担当 XXXXXXXXXX

基本費用	単価	数量	金額	摘要
航空券代	31,140	3	93,420	12/1 新潟～伊丹
航空券代	49,800	3	149,400	12/3 高知～伊丹～新潟
航空券代(取消料)	33,000	1	33,000	
宿泊代金(朝食付き)	14,300	3	42,900	JRクレメント高松
宿泊代金(朝食付き)	14,300	3	42,900	JRクレメント高知
小 計			361,620	
共通経費	単価	数量	金額	摘要
レンタカー費用	135,000	1	135,000	
レンタカー(現地支払い)	22,243	1	22,243	別紙
駐車代	2,500	1	2,500	別紙
小豆島フェリー	14,690	1	14,690	
小 計			174,433	
合計金額			536,053	
合計金額			¥536,053	

この度は弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。  
上記の通りご請求させていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

消費税10%対象	
税抜	¥487,321
消費税	¥48,732
消費税8%対象	
税抜	¥0
消費税	¥0
不課税	¥0

◆振込口座: XXXXXXXXXX  
新潟交通株式会社 販売推進係(ニイガタコウツウ.カ ハンパイスインガカリ)

《発行責任者及び担当者》

	役職	氏名	電話連絡先
発行責任者	課長	<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>	025-246-6366
担当者		<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>	025-246-6366

# 新市民クラブ 様

2025年12月1日(月)~3(水) 徳島・小豆島・須崎 行政視察案【2泊3日】

新潟交通株式会社 販売推進係

新潟市中央区万代 1-6-1 担当

TEL FAX025-246-6244

期 日	御 旅 程
12/1 (月)	<p>◆集合:新潟空港中央付近 7:30</p> <p>新潟空港 ⇒⇒ANA1658⇒⇒ 伊丹空港 ★レンタカー TEL06-6844-0100            8:05 9:15 トヨタレンタカー 大阪空港ターミナル店            (北ターミナル1番北側出口を出てすぐ)</p> <p>伊丹空港(車両レンタル) —池田 IC =&lt;194 km 3H00 程度&gt;= 高松 IC —            9:45~10:10 ※SAにてランチ休憩</p> <p>高松港(乗船手続き) ~~~フェリー~~~ 土庄港 —25分— 小豆島観光協会(オリブナビ)            13:10~13:40 (車両航送) 14:40~50 15:15~16:15~16:30            ※13:10 必着 小豆島フェリー高松港 TEL087-822-4383 ※帰り時間注意</p> <p>— 土庄港(乗船手続き) ~~~フェリー~~~ 高松港 — 高松市(泊)            17:00~17:30 18:30 18:40            ※17:00 必着 土庄港 0879-62-0875</p> <p>駐車代 1400 円ホテルフロント支払い            ■宿泊:JR ホテルクレメント高松 TEL087-811-1111</p>
12/2 (火)	<p>ホテル — 高松 IC =71 km= 徳島 IC — イースト徳島 DMO            9:00 10:10/10:30~12:00</p> <p>— 徳島(昼食休憩) — 徳島 IC =162 km= 高知 IC — 高知市内(泊)            12:10~14:00 17:00</p> <p>駐車代 1,000 円ホテルフロント支払い            ■宿泊:JR ホテルクレメントイン高知 TEL088-855-3111</p>
12/3 (水)	<p>ホテル — =38 km= — 須崎市(昼食休憩) —            10:00 11:00~13:00</p> <p>てくテックすさき(こどもの居場所づくりについて) — ★レンタカー返却 — 高知空港            13:15~14:45 16:00 16:30            高知空港店 088-864-0707</p> <p>— 高知空港⇒⇒ANA1612⇒⇒伊丹空港⇒⇒ANA1663⇒⇒新潟空港            17:25 18:10~18:55 19:55</p>

様式16(会派用)

## 視察(出張)報告書

令和8年1月16日

新潟市議会議長様

氏名 内山 幸紀

下記のとおり、視察(出張)が終了したので報告します。

視察議員	志田 常佳、串田 修平、内山 幸紀 (※高橋三義議員は当日不参加)
期 間	令和7年12月1日(月)～令和7年12月3日(水)
視 察 先	(1) 一般社団法人小豆島観光協会 (2) 一般社団イーストとくしま観光推進機構 (3) 高知県須崎市教育委員会
視 察 用 務	(1) 観光振興の取り組みについて (2) 観光振興と地域活性化の取り組みについて (3) デジタルものづくりを活用したこどもの居場所について
視察先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

## (1) 香川県小豆島 (香川県小豆郡 小豆島町、土庄町)

◇視察日時 令和7年12月1日 15:15~16:15

◇視察事項 観光振興の取り組みについて

◇視察会場 一般社団法人 小豆島観光協会 香川県小豆郡小豆島町西村甲 1896-1 オリーブナビ小豆島内

◇面会者 一般社団法人 小豆島観光協会 事務局長 [REDACTED] 氏

◇小豆島の概要 人口 23,967人 (2025年8月推計) 面積 153 km<sup>2</sup>

### ◇視察概要

#### ①行政などの関係機関との協力体制について

香川県小豆郡小豆島町と土庄町とで「小豆島観光協会」を設立し、地域の商工事業者や漁協、農協など200社と小豆島観光集いの場を構成している。

また、広域連携として、香川県(観光振興課)、県観光協会、せとうちDMO、JR四国などの関係機関との連携・協力体制を敷いている。

#### ②現在の観光振興の取り組み状況や効果について(島の環境を活かした取り組みや戦略について)

小豆島を訪れる年間観光客数は100万人。醤油、オリーブ、そうめんが特産品。

オリーブは個人農園があり、近年は海外でのオリーブ生産が減少傾向にあり、小豆島産のオリーブが目立っている。

令和7年10月17日、国連世界観光機関において、世界65か国・270の地域の中から、小豆島町と土庄町が「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」として認定された。「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」とは、SDGsに沿って、観光を通じた自然・文化遺産の保全等により持続可能な観光地域づくりに取り組む優良な地域を認定する国際的プロジェクトである。

他に、奈良県明日香村と和歌山県高野山が選ばれている。

#### ③現在の課題や懸案事項について

観光客数は平成22年以降横ばいでピーク時の3割減少し、観光客のリピート率も香川県の平均値より10ポイント低いとのこと。

観光スポットが島の南部に集中し、繁閑の差が激しく、特に冬場は夏・秋の半分以下である現状である。コロナ禍以降、日帰り客はほぼ回復したが、宿泊客は6割の戻り。

島内交通アクセスについては、路線バス頼みとなっていることが課題である。

2024年問題から路線バスは2割減便しており、路線バスとシェアサイクルとの連携が課題となっている。

インバウンドについては、高松空港に国際線の直行便がある、香港や台湾、上海、ソウルなどアジア圏からが多く、アメリカやヨーロッパ、オーストラリアからの来訪は少ない。

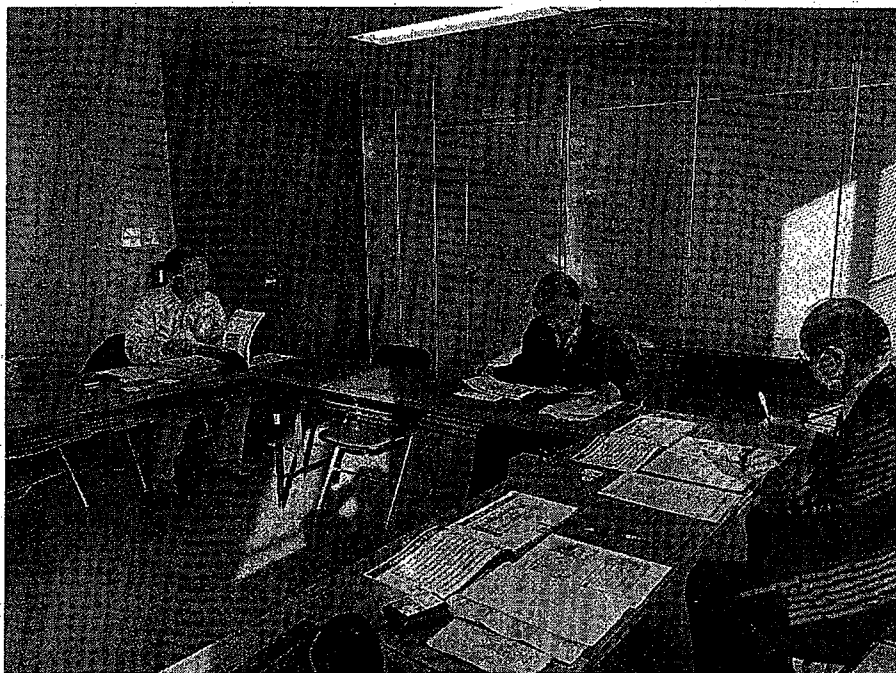
人口はピーク時の6割減、高齢化率は45%となっており、課題となっている。

【所見】

小説「二十四の瞳」の舞台となった小豆島は牧歌的な理想郷のイメージがあったが、現地に行くと、しっかりと産業が根付いており、観光と相まって地域の発展の様子が見て取れた。

オリーブの島としても有名で、海外からも注目され、観光とオリーブの需要が高まっている。

今後の発展の可能性を垣間見ることができた。



## (2) 徳島県徳島市

- ◇視察日時 令和7年12月2日 10:30~12:00
- ◇視察事項 観光振興と地域活性化の取組みについて
- ◇視察会場 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 徳島県徳島市八百屋町2-7 徳島センタービル7階
- ◇面会者 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 専務理事 渡辺 隆仁 氏  
同 事務局長 [REDACTED] 氏  
同 事務局次長 [REDACTED] 氏
- ◇市勢概要 人口 243,123人(2025年9月推計) 面積 191.52km<sup>2</sup>

### ◇視察概要

#### ①行政・観光事業者・住民など関係者との協力体制について

徳島市は、訪れた人々が「！」を実感する観光資源があり、地域経済を観光で潤す為に、徳島東部の観光資源の魅力と認知度を高め「行ってみたら良かった」と思ってもらえる地域を目指し、「ほったらかしを、掘っていく」をスローガンに、地域の中へ精力的に入り込んで活動している。イーストとくしまDMO(一般社団法人イーストとくしま観光推進機構)は、徳島県東部15市町村をマーケティング/マネジメントをするDMOとして、行政と民間企業が一体となり、観光客誘致による観光関連産業の振興と交流人口拡大による地域活性化を戦略的に促進している。組織に加盟しているのは、徳島県東部15市町村・参画企業15社(社員)・賛助会員27社(会費10万円)・一般会員34社(会費1万円)で構成されている。

#### ②現在の観光振興や地域振興の取り組み状況や効果について

地域で果たす役割として、各種データ等の継続的な収集・分析・データによるアプローチを取り入れた戦略(ブランディング)の策定をし、KPIの設定やPDCAサイクルの確立を行い、策定した戦略について多様な関係者と合意形成を図り、旅行者のニーズに即した商品開発・着地整備の取り組みの質を向上させ、効果的な誘客・旅行消費拡大に取り組んでいる。地域の魅力向上に資する観光資源への磨き上げを実施し、効果的な、旅行者目線による、受け入れ環境整備等の着地整備に関する地域取組を推進し、「持続可能な観光地域づくり」や「観光地域全体のマネジメント」の観点に留意した、着地型旅行商品の造成・流通・販売やランドオペレーター業務の実施など地域の観光地域づくりの一主体として個別事業の実施や災害等の非常時の訪日外国人旅行者への情報発信や安全・安心対策について、自治体等と連携して取り組んでいる。

#### ③観光面の効果・地域振興面の効果や現在の課題について

徳島県東部においては、インバウンドを含む観光客が非常に多く、往来している。コロナ禍においては、どの自治体でも同じく、低迷しているが、現在はコロナ禍前に回復してきている。その上で、イーストとくしまDMO(一般社団法人イーストとくしま観光推進機構)のビジョン・ミッション・様々な戦略・戦術として、プロモーションや販路拡大・コンテンツ(周遊型)の新たな造成・発着地点(周遊ルート起点)・周遊ルート(新規・既存の修正ルート)・受け入れ環境整備(多言語対応)を駆使しながら、2期目のKPIを設定し、達成を目指している。

### 【所見】

今回、イーストとくしまDMO(一般社団法人イーストとくしま観光推進機構)を視察したのは、本市において、佐渡島が世界遺産に認定されてから、未だに国内観光客やインバウンド(外国人観光客)が思い描くほど、訪れていないことから、本市より小規模自治体で尚且つ、島との交流などの観光客を呼び込むこと

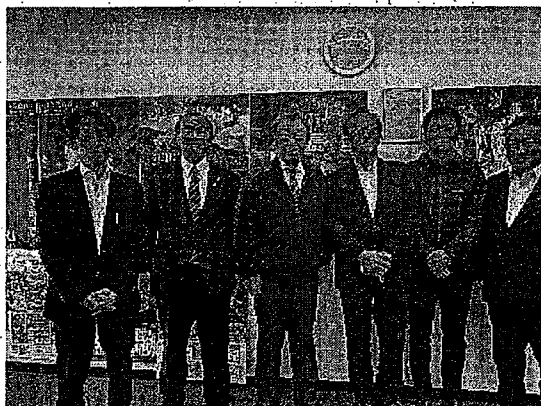
で、経済を潤している所を学ぶ事が今回のミッションであった。

佐渡島は宿泊施設や飲食を楽しむ場所が少なく、また本市を通過しなければ佐渡へは渡れない状況から本市での宿泊や飲食を楽しんで頂く為の導線をどのように確立すればよいのか、実際にイーストとくしまDMOがあるこのエリアも宿泊客が少なく、どちらかというと通過型の観光地で本市と佐渡市の関係に近いエリアだと感じた。

ただ一点、大きな違いは、小豆島や淡路市といった島と関西圏で繋がれており、日帰り観光の丁度いいアクセスになっていることがうかがえる。但し、現地に行ってみて感じたのは、本市と佐渡市の地形上は、あまり大きな違いはないと言う事が感じられた。やはり、そもそも本市と佐渡市が持つ、自然の強みや海や山、全国でも有数の水田面積を誇る、この強みを活かさきれていないことが非常に感じられた。

何気ないこの目の前にある風景こそが、観光コンテンツであり、キラコンテンツにもなると、改めて感じた。

今回の視察で感じたことを実際に本市行政に反映させながら、観光に弱い新潟を払拭するべきと考える。



### (3) 高知県須崎市

- ◇視察日時 令和7年12月3日 13:15~14:45
- ◇視察事項 「デジタルものづくりを活用したこどもの居場所」について
- ◇視察会場 てくテックすさき 高知県須崎市大間本町13-11 高知信用金庫須崎東出張所内
- ◇面会者 須崎市教育委員会事務局学校支援課 主幹 斧山 詩織 氏  
みんなのコードクリエイティブハブ事業部てくテックすさき館長 [REDACTED] 氏  
コーディネーター [REDACTED] 氏、 [REDACTED] 氏
- ◇市勢概要 人口 19,900人(2025年10月推計) 面積 135.4km<sup>2</sup>

#### ◇視察概要

##### ①施設整備の経緯と設置にあたり検討された事項について

予測困難な未来を生き抜く力を持った子供を育てる教育として、公教育におけるICT教育の推進や第三の居場所でのテクノロジー教育の推進をして行こうとテクノロジー教育に関する連携協定を令和3年4月13日に特定非営利活動法人みんなのコードと締結しました。連携の内容としては、プログラミング教育の充実及び実施、プログラミング教育の発展に係る情報等の共有に関する事。さらには、コンピュータで出来ることに触れられる機会の確保に関する事を目指し、1993年アメリカ・ボストン発祥で世界20か国10か所に設置しているコンピュータクラブハウスとして、子供たちが「いつでも」「安全に」「テクノロジーに触れられる」コミュニティを目指して、てくテックすさきを設立した。

##### ②現在の施設運営体制や事業プログラムの内容、関係機関との協力関係について

「てくテックすさき」は、令和4年3月26日にオープン。子供がプログラミングやデジタル機器をはじめとする最新のテクノロジーに触れ、学ぶ機会を創出し、自己実現を果たすことのできる「子ども第三の居場所」として、高知信用金庫旧須崎東支店(大間本町)の建物を活用し、年齢10歳~18歳までの子ども達を対象に、水~金曜日15:00~20:00、土・祝13:00~18:00までを開放している。

子供が安心して過ごせる環境で、将来の自立に向けて生き抜く力を育む「居場所」として、地域や家庭の環境に関わらず、すべての子どもがテクノロジーに触れられる機会を創出し、教育支援センターを併設し、通室生も来やすい環境を作り、高知県内で唯一の「子ども第三の居場所」事業採択拠点として、現在「みんなのコード」に委託し運営している。

##### ③これまでの事業の効果と現在、事業運営する上での課題や懸案について

今後の課題として、低年齢層の試験的受け入れを開始し、大人の手が入る前の低年齢期から興味・関心を養い、継続的な活動を通じ、自己表現の喜びや習慣を身に着けることや、毎月1~2回キッズデーを開催し、小1~3年生を受け入れ、令和7年7月より、試験的に毎週土曜日の通常開館時に受け入れを開始する。また、テクノロジーを体験することで、自分の可能性や視野を広げ、進路選択・職業選択の幅を広げながら、創作活動を通じた新たな自己表現の方法について学ぶ機会を創出し、市内のすべての子どもが体験できるよう、体験学習用のバス代等交通費を予算化します。その他、学校での学びを超え、テクノロジーに関する知識や技術を深め、社会での実践を目指し、部活動の地域移行の一環としても取り組んでいきたいとのこと。

#### 【所見】

みんなのコードが運営している、てくテックすさきの「デジタルものづくりを活用したこどもの居場所」は、非常に子ども達が新たな将来自分の可能性や視野を広げ、進路選択・職業選択の幅を広げながら、創作活動を

通じた新たな自己表現の方法について学ぶ機会を得られる貴重な施設になっていると感じた。

また、GIGA構想により全国で一人一端末を小・中学校で配置する事が出来、今後は新たなデジタル空間やIT産業のさらなるイノベーションを興す上でも、大人の手が入る前の低年齢期から興味・関心を養い、継続的な活動を通じ、自己表現の喜びや習慣を身に着けたりする事が出来れば、子ども達の将来の可能性を格段に引き上げる事が出来る取り組みになるのではと感じた。

本市としても、小・中学校の中でも少子化の影響から、スポーツや文化部の活動が狭まってきている事が窺え、子ども達にこれからの将来を見据えた選択肢の幅を広げられるように、本市としても試験的にこうした取り組みをして行く事は必要不可欠になっているのではと感じた。

